

埼玉県生活習慣病検診管理指導協議会議事要旨

- 1 日 時 平成26年2月20日(木)午後3時30分～午後4時30分
2 場 所 さいたま市民会館うらわ 603・605集会室

3 出席者

委員

- 胃がん部会 井原委員、藤田委員、淵上委員、岡委員、田中委員
子宮がん部会 柏崎委員、清水委員、藤原委員、高橋委員、横田委員
循環器疾患等部会 利根川委員、百村委員
肺がん部会 奥野委員、金子委員
乳がん部会 松本委員、肥田委員
生活習慣病登録・評価部会 金井委員、萱場委員
大腸がん部会 渡辺委員、野津委員、丸山(浩)委員
全部会 牧野委員(代理)、中島委員

事務局

- 保健医療部 石川副部長
保健医療部疾病対策課 野本副課長、大高主幹、高橋主査、佐野主査、
大島主任

(傍聴者なし)

4 資料

- 次第
 - 埼玉県生活習慣病検診管理指導協議会委員名簿(案)
 - 出席者名簿
 - 座席表
- 資料1 生活習慣病検診管理指導協議会について
資料1-2 生活習慣病検診管理指導協議会設置要綱
資料2 がん検診精度管理事業(がん検診結果統一集計)要綱
資料2-2 がん検診精度管理事業(がん検診結果統一集計)の流れ
資料2-3 がん検診結果統一集計
(平成23年度一次検診・平成22年度精密検査結果)
資料2-4 がん検診精度管理事業 平成26年度の予定等
資料2-5 がん検診受診率算定のための検診対象者数の統一について
埼玉県がん検診結果統一集計の精検結果の集計時期について
資料2-6 がん検診結果統一集計と地域保健・健康増進事業報告、がん登録か

ら得られる情報

- 資料 2-7 がん検診チェックリスト市町村評価基準
- 資料 2-8 がん検診結果統一集計 集計表
- 資料 2-9 地域保健・健康増進事業報告 報告様式
- 資料 3 今後のスケジュール（案）
- 資料 4 埼玉県生活習慣病検診管理指導協議会子宮がん部会報告
- 参考資料 1 がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針
- 参考資料 2 平成 23 年度埼玉県がん検診結果統一集計
- 参考資料 3 埼玉県がん対策基本計画（平成 25 年度～平成 29 年度）

5 議事

(1) 埼玉県がん検診精度管理事業について

- 事務局から資料 1～3 に基づき説明し、委員の了解を得た。質問はなし。
 - ・今後の予定は、来年度中に 4 つのがん（胃・肺・大腸・乳）の各部会を 1 回、全体会を 1 回開催する

(2) 子宮がん部会報告

- 子宮がん部会（清水委員）から資料 4 に基づき説明。部会での協議の結果、資料 4 の内容から変更された部分を中心に説明し、委員の了解を得た。質問はなし。
 - ア 資料 4-2（子宮頸がん一次検診）
 - ・HPV 検査施行数について、資料では「ASCUS のうちの HPV 検査施行数」を計上することとなっているが、この計上はトリアージの意味合いであり、これは精検分で計上することが望ましい。HPV 併用検診を先駆的に行っている市町村もあり、一次検診の集計では「HPV 検査施行数」を計上することとしたい。「HPV 検査施行数」及び「HPV 検査施行数のうち HPV 陽性者数」を別枠とする。
 - ・「HPV 陽性率」の枠も追加し、自動計算で陽性率を把握できるようにする。
 - イ 資料 4-4（子宮頸がん精密検査）
 - ・子宮頸がんでは、腺がんが非常に増えており、腺がんは細胞診で発見しにくい特徴がある。今回、腺がんを追加して計上することで、HPV 併用検診推奨の根拠になる可能性がある。
 - ウ 資料 4-7（埼玉県妊婦子宮頸がん検診精密検査紹介状及び結果連絡票）
 - ・新たに「HPV 検査結果」を追加。
 - ・「原発性の子宮頸がん」の表記は違和感のある言葉。「浸潤がん」に変更。
 - ・「扁平上皮がん」「腺がん」に加えて「その他の組織型」の項目を追加。
 - ・診断所見の欄は、国の統計（地域保健・健康増進事業報告）に合わせて整理しているが、順番がおかしい。程度の軽いものから重いものへの順番が適当である。国へ意見を述べた方がいいと思う。

(3) その他

- 特になし

(4) 全体を通しての質問等

藤田委員：がん登録について、進捗状況はいかがか。

事務局：平成23年秋から始まった。平成24年にがんになった人のデータをすべての医療機関から集め、平成25年12月を締め切りとして集計を行っているところである。

議長（金井会長）：がん登録について、施設の問題もありどれだけ集まるのか。どれだけ漏れてしまうのか心配である。

議長（金井会長）：他にご質問がなければ、以上で議事を終了。委員の皆様、御協力ありがとうございました。